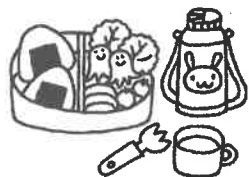




♡♡♡お弁当 DAY のお知らせ♡♡♡

子ども達の園生活の楽しみの一つに「LUNCH TIME」があります。普段は「こども給食センター」さんから美味しい給食が届き、子ども達も毎日楽しみにしています。そして、来週はよいよ子ども達が心待ちにしている「お弁当 DAY」があります。それぞれの学年で曜日が違いますので、行事予定表で確認して下さい。

やっぱり子ども達にとって、ママやパパが作ってくれるお弁当は特別！  
ふたを開けた瞬間の嬉しそうな表情は、見ているこちらまで幸せな気持ちになります（笑）



最近は“キャラ弁”など可愛いお弁当もあり、子ども達のワクワクを一層高めてくれます。ただし、決して保護者の方に負担を感じていただく必要はありません、大切なのは、見た目の華やかさよりも、そこに込められた“愛情”です。

この日のおかずは、ぜひお子さんの『好物』を入れてあげてください。  
ママやパパの愛情が詰まったお弁当… それだけで子ども達にとっては“世界一”のご馳走ですよ（笑）

△▼△ATTENTION△▼△

前号でもお知らせしてある通り、27日（水）は内科検診のため、降園時間が30分遅くなります。通園バス降園時間を間違えないようご注意ください。

なお、お歩きコースの降園時間は通常通りです。



🌻🌻🌻 参観日のご案内 🌻🌻🌻

参観日は、パパやママが観に来てくれることを、子ども達も心待ちにしています。普段なかなか観ることのできない園での表情や友達との関わり、頑張る姿を、ぜひ楽しみにご覧下さい。また、つぼみぐみの保護者の方には「親子レクリエーション」として行います。

- ① 6月 2日（火） 年少児 10:20～11:00
- ② 6月 4日（木） 年中児 10:20～11:00
- ③ 6月 9日（火） 年長児 10:20～11:00
- ④ 6月 17日（水） つぼみぐみ

\*教室の混雑を避けるため参観できるのはお子さん一人につき保護者「1名」とさせていただきます。

\*10:10に玄関を開放します。その前には園舎に入れませんのでご注意ください。

\*上履きをご持参下さい。

\*駐車場の用意はありません。ご注意ください。

\*つぼみぐみ親子保育の詳細は後日担任よりお知らせいたします。



YOKOMINE 式「逆立ち」の効果

～「できる・できない」の先にある本当に大切な育ち～

YOKOMINE 式の保育というと、「逆立ち歩き」「跳び箱」「ブリッジ歩き」など、少し驚くような運動を思い浮かべる方も多いかもしれませんが、保護者の方の中には、「こんな小さな子どもに、そこまで必要？」「危なくないの？」と感じる方もいらっしゃると思います。けれども、**幼児教育において大切なのは、「逆立ちそのものが目的ではない！」**ということです。**白ゆり幼稚園が大切にしているのは、“逆立ちに挑戦する過程”の中で育つ子ども達の『心』**です。

「逆立ち」は、見た目以上にたくさんの力を必要とする運動です。まず、自分の体を両腕で支える力が必要になります。さらに体を真っ直ぐに保つための体幹の力、グラつかずに姿勢を維持するためのバランス感覚、そして「今、自分の体がどうなっているか?!」を感じ取りながら動く、身体のコントロール力も必要です。つまり「逆立ち」は、腕だけの運動ではなく、全身を使って自分の体を支え、整える運動なのです。

幼児期は、体の土台を作る大切な時期です。この時期に、走る・跳ぶ・転がる・ぶら下がる・支えるといった多様な動きを経験することは、将来の運動能力の基礎に繋がります。「逆立ち」もその一つであり、体を逆さにするという普段とは違う姿勢の中で、自分の体を思い通りに動かす感覚を養っています。最初は、怖さや不安があっても、少しずつ慣れ、自分の体を支えられるようになることで、子どもは「できた」という確かな手応えを感じるようになります。

しかし、「逆立ち」の価値は、体の力だけではありません。むしろ、**白ゆりの幼児教育においては、「心の力」の育ちの方がより大きいと言えます。**最初から上手にできる子なんて一人もいません。壁まで足を上げることが怖い子もいれば、腕に力が入らずすぐに崩れてしまう子もいます。何度やっても上手にできず、悔しい思いも経験します。けれども、その「できない!!」経験こそが大切なのです。

「もう一度挑戦してみる」「悔しいから練習する」、友達のできるようになった姿を見て「自分もやってみたい」と思う。教師や友達に励まされ「もう少し頑張ろう」と前を向く。

こうした積み重ねの中で、逆立ち歩きができるようになるだけでなく、挑戦する心・諦めない心・続ける力を身に付けていきます。**これは将来、勉強に向かう時も、友達関係で悩んだ時も、壁にぶつかった時にも支えとなる、大切な“生きる力”の土台です。**

「逆立ち歩き」は一人で完成するものではありません。周囲の仲間との存在も大きな力になります。仲間との「育ち合い」が刺激となり、「やる気」も高まります。幼稚園という集団の中で取り組むからこそ、競争だけでなく、励まし合い、認め合う経験も生まれます。そこには、**運動能力以上に大切な、人との関わりの学びがあるのです。**

私達は結果だけを求めているわけではありません。全員が同じ時期に同じようにできるようになる必要はありません。逆立ちで歩けること自体には特別な価値があるわけではありません。子どもの育ちは一人ひとり違います。**大切なのは、その子が自分なりに一歩踏み出しているかどうかです。“小さな成長”の積み重ねが本当の意味での育ちなのです。**

YOKOMINE 式の保育は、技を見せるためのものではないし、体を鍛えるだけのものでもありません。

「体の力」を育てる意味とともに、子どもが「やってみたい!」と思い、「できた!」という喜びを知り、「できるまで頑張る!」経験を積み重ねる大切な意味があります。

**「逆立ち歩き」で育つのは、“自信”であり、“粘り強さ”であり、“挑戦する心”**です。幼児期に育てたいのは、目先の上手さではなく、人生の土台となる力です。

「逆立ち」という一つの取り組みの中にも、その土台を育てる大切な意味があるのです。